

広域圏の概要とこれまでの取組

こおりやま広域連携中枢都市圏（略称：こおりやま広域圏）

- ▼ 構成：4市7町4村（中心市：郡山市）
- ▼ 人口：約59万人（福島県の約3割）
- ▼ 面積：約2,968 k㎡（福島県の約2割）

福島県県中地方12市町村に郡山市への通勤通学割合10%以上の3市町村を含めた15市町村によって圏域を設定

【構成市町村】

郡山市、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町



「こおりやま広域圏」15市町村では、少子高齢・人口減少社会にあっても地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、「**連携中枢都市圏**」の形成に向けた取組を実施



都市圏形成に向けた本格的取組へ

平成29年11月22日（水）に以下を実施、都市圏形成へ向けた取組を本格化

▼ 連携推進協議会（市町村長会議）

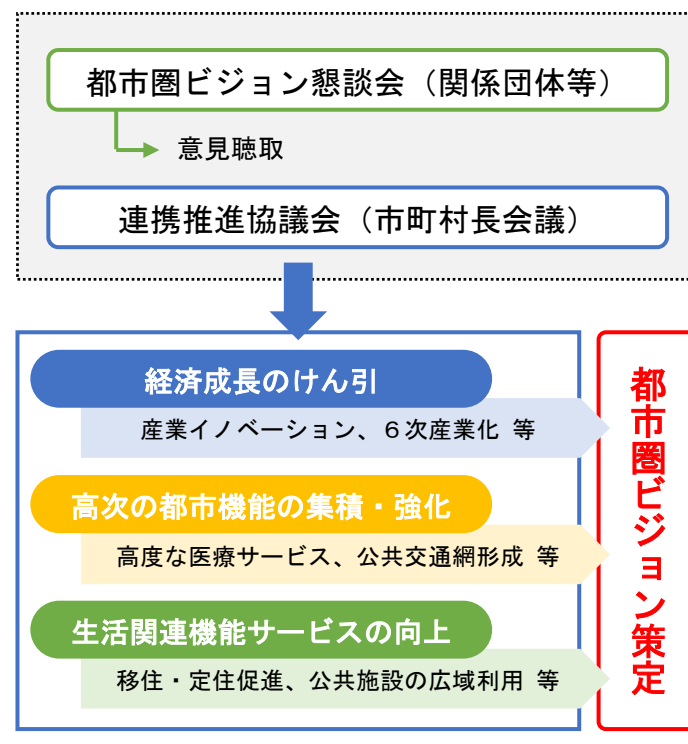
対象者：郡山市及び関係14市町村長
議 題：今後の推進体制、圏域の名称 等

▼ 広域連携セミナー

参加者：郡山市及び関係市町村長、議会議員、職員、関係団体等 約300名
講演①：「人口減少時代における新たな広域連携について」
福山市企画財政局企画政策部長 中村 啓悟 氏
講演②：「あるべき産業支援の姿と心構え」
福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizセンター長 高村 亨 氏



推進体制の構築



4市7町4村による59万都市圏の形成へ

- 将来展望の実現
- 圏域人口の維持
- 地域経済の活性化

One for all, All for one!
～1自治体は圏域全体のため、圏域全体は1自治体のために～

